

## 第 103 回 国立大学法人新潟大学経営協議会（臨時） 議事概要

- 1 日 時 令和 2 年 6 月 5 日（金） 11 時 00 分～12 時 34 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 14 名（牛木学長，川端委員，小久保委員，坂本委員，澤村委員，末吉委員，成田委員，伊藤委員，岩田委員，齋藤委員，神保委員，高橋委員，福田委員，三輪委員）  
（ほか塚本理事，富田特命理事，田代監事，逸見監事がオブザーバー出席）

### 4 議事概要について

第 102 回（令和 2 年 3 月 16 日）の議事概要が確認された。

### 5 報告事項

#### （1）新潟大学における新型コロナウイルス感染対策について

牛木学長から新潟大学における新型コロナウイルス感染対策について，資料 1 に基づき，報告があった。

〔主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言〕

- ・貸付金の学生アルバイトについて，具体的にどのような内容の仕事を学生に提供しているのか伺いたい。
- ・これから具体的などころを決めていくところである。貸付金の返還は在学中に行えばよいことにしており，対面授業が再開されれば，いくつか考えられ，学生が興味をもったもので返還してもらえればよいと考えている。
- ・大変しっかりした活動が行われていることがわかったが，新潟大学における感染率，入院が必要となった重篤な学生が発生したのか伺いたい。
- ・現在，病院関係者を含めて，学生および教職員の感染者はゼロである。
- ・早めの対応を行っているとのことによかった。学生に対する経済支援についてだが，新型

コロナウイルスにかかる経済支援のため、募金活動を進めている大学がある。募金活動を行うことは、連帯意識を高める効果もあるが、そのような取り組みは行っているのか。

- ・本学では、「新潟大学まなび応援基金」への寄付を受け付けており、こちらへの寄付をお願いしている。問い合わせについても多くいただいている。
- ・行動指針を設けレベル分けを行っているとのことだが、事務職員のレベルを通常に戻している。企業を見てみると、今回の対応を機に働き方を変えたとの企業も出てきている。事務職については、ここだけ戻し方が早いように感じる。交代制でも業務に支障がないようであれば、交代制を続ける選択肢もあると思われるので、元に戻すだけではない改善のやり方も念頭にいれて対応してほしい。
- ・事務職については、交代での勤務体制を行い、6月1日付けで感染対策をおこなった部署から通常の体制に戻している。現状では、リモート業務を行う環境整備が遅れており、書類管理に支障があった。今後、環境整備を行っていかねばならないと考えている。働き方改革も念頭に今後対応していきたい。
- ・基金についてと学生の自立支援の件になるが、基金については、この時期に積極的に集める必要があり、サポーター連携推進室を通じて寄付依頼の手紙を送付している。また、学生の自立支援については、基本として金銭を渡すだけではなく、仕事をして対価を得るべきだと考えている。大学としては、学生が参画するようなシステムをこの時期に作っていく必要があると考えており、たとえば、図書館の蔵書のICチップ化などの仕事を検討している。学生支援の規模としては、基金から1億円を拠出することとしている。また、授業料免除枠についても、国からの資金を充当して枠を広げる予定である。
- ・学生の経済的負担の軽減策として、授業料の納入日については、納入日を8月27日に延長している。大学としては、中長期的なイメージでサポートができるよう対応を行うこととしている。
- ・新潟県内で公立、私立の病院が多くあるが、国立大学として、新潟大学医歯学総合病院はどのような立ち位置となっているのか伺いたい。

- ・ 県内唯一の医科大学であり、大学病院を中心に色々な対策を行政と連携しながら行っている。医歯学総合病院については、高度特定機能病院であり、新型コロナウイルス感染症患者を率先的に受け入れる状況ではなく、まずは市内の病院に患者の受け入れを行っていたが、そのバックアップを行うこととしている。また、県と市の医師会とも連携をとって対応を行っているところである。
- ・ 新型コロナウイルス関連の一連の流れは、だれの責任でもないわけであり、その予算措置については、国として行わなければならないところである。新潟大学としてもしっかりと声を上げて行ってほしい。
- ・ 医療現場の職員には全国民が感謝しており、私自身もその一人であるが、今後第二波、第三波が予想される中で、マスクやガウンなどの医療備品の確保について、状況としてはいかがか。
- ・ 一般用のマスクについては、流通し始めている。サージカルマスクは、供給が安定し始めているが、N95 マスクについては、供給はあるものの粗悪品が混じっている現状があり、慎重に購入を検討する必要がある。手術用のガウンについては、不安があるところだが、供給の見込みが出てきている状況である。
- ・ 院内感染について、現場の状況からみて、どのような対策が必要と考えているのか伺いたい。
- ・ 急峻な感染拡大のカーブを起ささないようにすること、患者数が急激に増えないことによって、院内感染のリスクを下げるのが大切だと考える。

## (2) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施について

牛木学長から「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施について、資料2に基づき、報告があった。

※意見・質問なし。

**(3) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各種提出期限の変更について**

牛木学長から、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各種提出期限の変更について、資料3に基づき報告があった。

※意見・質問なし。